

興讓館高校のはじまり

興讓館



指定区分	県指定史跡
読みかた	こうじょうかん
所在地	井原市西江原町
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	嘉永6年(1853) 阪谷朗廬(さかたにろうろ)がこの地方の子弟教育のため創立した郷学の遺構で、それが発展して今日の興讓館高校となった。講堂と校門は創立時に建築されたものが残っている。
アクセス方法	井原鉄道: 井原駅から徒歩20分
公開状況	「講堂」の中の見学は事前に要相談 / 時間: 10~16時 / 問: 興讓館高校 0866-62-0124
設備	駐車場 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	興讓館
よみかた	こうじょうかん
しょざいち (所在地)	井原市西江原町
していたひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	江戸時代(えどじだい)のおわりごろ、井原市(いばらし)出身(しゅっしん)の教育者(きょういくしゃ)である阪谷朗廬(さかたにろうろ)が庶民(しょみん)の教育のために創立(そうりつ)した学校です。その後、発展(はってん)していき、今は興讓館高校(こうじょうかんこうこう)となっています。当時(とうじ)のものとして、講堂(こうどう)と校門(こうもん)が残(のこ)っています。